

ワキ対策の水交換・軽い田干しと浅水管理で分けつ促進！

5/20 前後に移植した圃場では分けつが始まっていますが、茎数の増加は緩慢な傾向です。浅水管理で引き続き分けつを促しましょう。移植が遅れた圃場では特に注意して水管理を行いましょう。また、ワキが強まっている圃場も見受けられます。水交換・軽い田干し等のワキ対策を行いましょう。

生育状況（6 月 10 日現在、置賜農業技術普及課生育診断圃）

「はえぬき」の生育				「つや姫」の生育			
項目	川西町吉田		概況 (平年値との比較)	項目	川西町黒川		概況 (平年値との比較)
	調査値	平年比・差			調査値	平年比・差	
草丈(cm)	21.8	94	短い	草丈(cm)	28.5	101	平年並み
茎数(本/㎡)	151	83	少ない	茎数(本/㎡)	158	96	やや少ない
葉数(枚)	5.9	-0.2	平年並み	葉数(枚)	5.9	-0.2	平年並み
葉色(SPAD)	32.4	-0.1	平年並み	葉色(SPAD)	30.5	-0.3	平年並み

「雪若丸」の生育			
項目	高畠町山崎		概況 (平年値との比較)
	調査値	平年比・差	
草丈(cm)	25.8	98	平年並み
茎数(本/㎡)	189	85	少ない
葉数(枚)	7.1	0.3	やや多い
葉色(SPAD)	38.9	3.3	濃い

1 か月予報（6 月 5 日 仙台管区気象台 発表）

気温：6/7～6/13：高い見込み

6/14～6/20：高い見込み

6/21～7/4：高い見込み

降水量・日照時間：平年並みの見込み

浅水管理で分けつを促進！土壌の異常還元（ワキ）発生の場合はすぐ水交換！

- 6 月は分けつを促進し、有効茎数を確保する重要な時期です。
 - 分けつを促進する水管理のポイントは以下の2つ！
 - ① 浅水管理（水深 2～3cm） ② 昼間止水・夜間かんがい
- 日中止水

夜間入水
- 向こう 1 か月は高温になる見込みで、土壌還元が進むことが懸念されます。
 - 夜間落水などで根圏環境の改善に努めるとともに、**土壌の異常還元（ワキ）がみられるほ場では、速やかに水交換や一時的な落水（2～3 日の田干し）**を行います。
 - 茎数が不足している場合は、水交換または夜間のみの落水とします。

有効茎数確保後は速やかに中干し・作溝！

- 有効茎数の8割を確保したほ場から遅れずに中干し・作溝を行いましょう。
- 6月中の中干しにより発生が促される直下根は登熟期の高温耐性を高めます**
- 中干しの目安はほ場に小ヒビが入る程度**。葉色や生育量に応じて中干しの強度（乾き具合）を調節します。
- 作溝は、中干し時の排水や登熟期の灌排水を容易にし、地耐力を高める重要な技術です。
- 中干し後は、走り水で飽水管理をした後、徐々に間断かん水（2日湛水・2日落水）に切り替えます。

品種別の目標茎数の目安（本/株）

品種	1株あたりの目標茎数
	坪70株植えの場合
はえぬき	23本
つや姫	20本
雪若丸	27本
ひとめぼれ	24本
あきたこまち	22本

	60株/坪	70株/坪
コシヒカリ	23本	20本

【中干し・作溝の効果】

- ◎無効分げつの抑制、根の健全化、受光体勢の良化 → 登熟向上、倒伏軽減
- ◎登熟期の灌排水の効率化 → 地耐力の向上

取り置き苗はすぐ処分！

- 梅雨に入ると、いもち病の感染に好適な日が増加します。**補植用取り置き苗は、葉いもちの感染源となります。早急に処分しましょう。**
- 箱施用剤による葉いもちの防除を行っていない場合は、**6月20日までに遅れず本田施用剤（粒剤等）を散布**しましょう。



葉いもちの病斑

斑点米カメムシ類の発生がすでに確認されています！（県病虫害防除所発生予察情報）

- 畦畔・農道、雑草地の除草（草刈り）を地域ぐるみで行い、地域全体の斑点米カメムシ類の生息密度を下げましょう。
- 水田内のイヌホタルイやノビエは**アカスジカスミカメ**の発生源になります。残草対策もしっかり行いましょう。



アカヒゲホソミドリカスミカメ

アカスジカスミカメ

農作業事故と熱中症に要注意！

声をかけ合い農作業事故ゼロへ！

こまめな休憩と水分補給。ゆとりをもった無理のない作業を心掛けましょう。

山形県農薬危害防止運動 実施中！

農薬を使用した際はしっかり記帳！

農薬を使用する際には、使用基準を再確認し正しく使いましょう。